



QRコードを読み取り、令和元年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



こんどう ちづる  
**近藤 千鶴** 議員  
(令和)

**6月定例会の市長の答弁「離婚する人は我慢が足りない」について伺う**

- 問** 市民の反応に対しどう認識しているか。
- 市長** 議会事務局に2件の問い合わせがあったが、議事録を読み理解していただいたと思っており、それほど大げさな反応があったとは思っていない。
- 問** 離婚に対し市長の立場としての考えは。
- 市長** 離婚する前に大人が子どもや家庭に対し最大限の努力をすべき。子どものことを第一に考え努力を惜しまない地域社会の実現を願う。
- 問** 「我慢が足りない」発言を訂正できるか。市民に夢や希望のある言葉を言ってほしいが。
- 市長** 全体を見ないで一部のみを取り上げて批判されても困る。のっぴきならぬ事情で離婚する人も我慢しろとは言っていない。何もおかしい発言



さの かずひこ  
**佐野 和彦** 議員  
(富岳会)

**富士宮市の農業の未来**

- 問** 農家の後継者が新たに事業を起こすとき、どのような応援ができるか考えられないか。
- 部長** 経営継承する後継者や新たな作物により農業を行う後継者についても、開業から5年以内であれば新規就農者と同様の支援制度があり、各種補助金、低金利の融資制度、農地のあっせん等を受けることができる。
- 問** 日本一の価格で取引された富士宮市のお茶を行政でもっと活用し、アピールすることは考えられないか。
- 部長** 今後は、「日本一のお茶」または「日本一のお茶のふるさと」をキャッチコピーにして、さまざまな場面でアピールしていきたい。
- 要望** 衰退していく農業を、もっと積極的な姿勢で支えていただきたい。

をしたと思っていないので、訂正する気持ちはない。これからも一生懸命やっていく。

**市の防災・減災について**

- 問** 市の防災会議に女性を増やせないか。
- 部長** 女性を増やす試みはしている。今後検討。
- 問** 自主防災会の女性役員割合を3割に、管理責任者を男女両方配置できないか。
- 部長** 自主防災会の考えを尊重すべきもの。
- 問** 女性防災リーダーの育成ができないか。
- 部長** 専門性を持った講師が必要なために簡単に養成の場を用意することはできない。
- 問** 避難所の鍵の管理は。
- 部長** 学校管理者等、地区担当の職員、自主防災会の3者で協議し対応している。
- 問** 市役所給湯室の上下反対の水道蛇口は災害リスクが高いと思うが交換はできないか。
- 部長** 市民に不都合は生じていない。壊れたら順次交換するが、今は交換予定も意思もない。
- 問** 災害時のホームページ等の活用について。
- 部長** 有効な活用の研究をしていく。

**富士根北部の未来**

- 問** 村山につながる2本の道を、今後どのように改善していくのか。
- 部長** 市道拡幅整備の方針は、交通量が多く、緊急性や安全確保が必要なもの、拡幅に必要な関係地権者の同意が重要であり、それらを総合的に検討し事業計画を立てている。質問の道路は延長が長く、多額の予算がかかり交通量も比較的少ない状況であるため、全面的な拡幅整備は現状では困難である。
- 市長** 市の全般を考えるとすぐにはできない。
- 問** 様々な事業が立ち消えになった篠坂地先の土地を、今後どのようにしていくのか。
- 部長** 現在のところ当該土地について、整備に向けた具体的な計画は無いが、引き続き有効活用に向けての研究を続けている。
- 市長** この土地を何とかしてくれというような思いは重々わかるため、その点はしっかり受けとめて、いろいろ検討してまいりたい。
- 要望** 前向きな深い検討をしていただきたい。